

## 研究テーマ「公式 SNS の発信やってみた（仮）」

視聴覚実習教育研究委員会 D ブロック

|         |       |
|---------|-------|
| 上野原高校   | 宮下 雅也 |
| 都留高校    | 今川 真奈 |
| 都留興譲館高校 | 土屋 恵美 |
| 吉田高校    | 島袋あゆみ |
| 富士北稜高校  | 宮下 富美 |
| 富士河口湖高校 | 川手 里佳 |

近年、教育機関や教育現場における公式 SNS を使った情報発信が行われています。そもそも SNS とは？ 学校現場で運用前にできることは何なのか？ また現状や課題について学ぶため、教育現場・民間の方を講師に招いて研修を行いました。また県内の高校で SNS 発信をしている県立高校の活動を実際に見学しました。そして D ブロック6校でリール動画を制作して仮の公式 Instagram に投稿するまでを研究しました。

### 1. 上野原高校 宮下 雅也

## 上野原高校

### 動画の作成

ドローンで撮影し、「CapCat」で編集しました。

※DX事業で購入した、Appleのmac miniで編集しました。

※ドローン撮影は、生徒の紹介で業者を紹介してもらい、撮影をした。

### 編集について

カット、トリミング、エフェクト追加など様々な機能がありますが、「テンプレート」を編集して作成すると、かなり簡単に動画編集を行うことができました。

上野原高校の動画はテンプレートを探す時間も含めて30分程度でできました。

### 課題

上野原高校では、動画撮影や、編集は生徒会の生徒が中心になって作成しています。

作成した動画→管理職の先生の許可→発表という流れになっています。

そのため、卒業や生徒会の生徒の減少などの理由から動画編集ができなくなってしまう可能性があることが現在の課題となっています。

## 2. 都留高校 今川 真奈

# 都留高校

### 動画の制作

探究活動にて生徒が制作したものを「CapCut」で編集し直した

→生徒はスマホにて作成。動画編集は生徒の方が手馴れている

### 動画の編集

①やはりナレーションが聞きづらいところもあるので字幕は必須だと感じた

②オープンスクールなどへの活用も考え、横型の動画を作成したがSNSに載せる場合はやはり縦型の動画の方が見栄えが良い

### 課題

学校公式のSNSとなれば個人のスマホから学校アカウントへアクセスし投稿をすることへの抵抗はぬぐえないと感じた

映像の撮影→動画の編集→SNS投稿まで1人だとかなりの負担になるので長期的に運用していく場合は体制を整える必要があると感じた

## 3. 都留興譲館高校 土屋 恵美

### 都留興譲館高校<動画制作からInstagramへ投稿まで>

\*個人PCやスマートフォン等を使用せず、学校調達PCのみで制作する。

\*オープンスクールや学校PR用に撮影した動画・画像（アスペクト比16：9）の有効活用。

#### 使用したアプリ（PC版）：Canva、CapCut、PowerDirector、Instagram（投稿用）

①PowerDirector（通常業務で使用しているもの）で制作してみる

・「9：16」スマホ用の設定で編集→SNS用に書き出し→投稿の予定だったが、切り替え効果や文字・スタンプ入力等細かい設定が必要。もっと簡単に直感的に作ったほうがよいと考え編集途中であったがCanvaに変更。

②Canva（無料版）で制作してみる 「スマホ動画」設定で編集→直接Instagramに投稿できる

・16：9→9：16に自動で変換し、ちょうどよいところで切り取りしてくれるが、微調整ができないので手動で変換。

・切り替え効果が簡単に設定できる。文字やスタンプも同じタイミングで切り替わる。

・ビートシンク機能でビートマーカを表示できる。BGMに合わせた切り替えに便利。

・テキスト読み上げの音声サンプルが少ないので使いたいものがない（無料だから…）

③CapCut（無料版）で音声ファイルをつくる

・「テキスト読み上げ」で動画に音声をつける→mp4に書き出し→PowerDirectorでmp3に書き出し→Canvaにアップ

④Canvaで全体の音量調整をしてInstagramへ投稿

#### まとめ・課題

従来の学校紹介動画の感覚でつくとあれもこれも入れたい・説明したいとなるが、短い動画なので画面に情報を入れすぎると情報過多になり何を伝えたいのかぼんやりする。「編集しすぎない・テーマを絞る」に意識を変えていく必要がある（今回は本校の魅力・向上）。SNS発信には「センス」が必要だと改めて実感した。

PCだけでもSNS発信はできるが、校内の体制づくりや出演生徒の選定（個人情報・特に顔出しの可否）のハードルは高い。スクリーンショット等による二次利用も心配。

## 4.吉田高校 島袋 あゆみ

### 吉田高等学校 【吉高生の苦悩を明るく・楽しく・短く・表現してみた】

☆学校の独自端末ipadを使って動画撮影とCapCutで編集し動画の制作に挑戦した。

☆公式SNSに投稿することを想定してスマートフォンでの視聴を重視した縦型(9:16)

#### 制作のための準備・撮影と編集

- ①CapCutをダウンロード→Instagramをダウンロード(視聴覚実習教員Dブロックの仮のサイトにログイン)
- ②部活動(放送部)の生徒に協力してもらって一発で撮影終了→コンセプトさえ揺るがなければ意外と簡単
- ③CapCutを開き動画を取り込んで不要な部分をカット・無料のBGMや無料の効果音、テキストを入れて編集

押さえておくべきポイント!! ⇒ **冒頭でインパクト**を与える **アップテンポ**で飽きのこない構成

**BGMや効果音や効果**を取り入れる スマホの**カメラを固定**させる(三脚・ジンバル・スタビライザーの活用)

被写体で**フレームを埋める** **バズっている動画**を真似る(甲府工業のInstagramを参考にしました)

#### まとめと課題

今までの学校紹介ビデオ(8分程度)とは違った感覚をもって構成・撮影・編集などにチャレンジしていく必要がある。

SNS運用に関しては学校や分掌など組織の中で**運用規定をしっかりと設けることが必要(個人情報)**

**吉高の生徒もマスクをつけたままがいいなど顔出し半NGな雰囲気**の生徒もいました。

SNS発信専用機材の整備も必要⇒**予算をどこからもってくるのか**

学校の公式SNSを発信ツールにするためには⇒若手の先生と高校生からの学びとアプリを積極的に学ぶ気持ちが大事

## 5.富士北稜高校 宮下 富美

### 【富士北稜高校】

撮影機材 ビデオカメラ (SONY HANDYCAM HDR-CX680)

編集アプリ Canva無料版 編集機材 ハイユースPC

#### 工夫した点

- ・撮影するときにOneシーンを長く撮らない方が編集しやすい。四コマ漫画をイメージした。
- ・TikTokはスマホの縦型サイズで見せるため、見せたい箇所を画面の中央に置き余計なものを入れないようにすると編集しやすい。ビデオカメラでは横型撮りになるので注意が必要。
- ・素材の音をそのまま使えるようにはっきり喋ってもらう。

#### 苦労した点

- ・どのような内容のものを作るかを考えるのに苦労した。発想力が必要だと感じた。発想が浮かばないときは実際のTikTokを見て練習目的で真似して作ってみるのも良いと感じた。

#### 感想と課題

- ・建築実習の授業では事前に授業担当者と打ち合わせしておいたので短時間で撮影することができて良かった。今後学校の魅力をアピールする手段としてTikTok、InstagramなどのSNSが活用されるかもしれないが、生徒・職員の顔出しがあると安全面が危惧される。

## 6.富士河口湖高校 川手 里佳

### 富士河口湖高校

#### 動画の制作

せっかくなのでスマホで撮影して「CapCut」で編集を試みた。……が、「CapCut」ダウンロード後の利用登録情報入力に抵抗を感じあきらめた。

↓（ならばいっそのこと……今あるもので!）

編集は、使い慣れた「adobePremiere」で行った。

#### 縦型動画の編集

①伝えたいことは「縦でも横でもなんとかなる」ことは実感できた。

「人の目線」を意識した撮影になるので、より「伝えたいことへのフォーカス」が重要と感じる。

②文字情報を入れたが、スマホで読める大きさがイメージできない。

そもそも文字情報は使わない方がいいのだろう……と感じた。

#### 課題

情報発信の即時性を考えると、スマホからアップすることがベストだとは思うが、

プライベートな個人端末で、公的なものに対応することは抵抗が大きいと感じた。

インスタグラムはWeb版もあることから、公的な情報発信にはこちらを活用し、

それのできる範囲で行うのが良いのではないかと思います。

新ハイユースPCには「Microsoft Clipchamp」という動画編集ソフトも搭載される。

こうしたものも活用していけば、SNS発信は手軽になっていくかもしれない。

